

平成23年度 水俣市立水俣第一中学校 学校版環境ISOの取り組み

1 環境ISO宣言

生徒総会での宣言



【前年度までの課題】

▲学校で取り組んでいる活動には積極的であるが、個人の意識が低く、自発的な活動につながっていない。



～平成23年度 環境ISO委員会年間目標～
一人一人が環境に対する向上心を持ち、
節電・節水・ゴミ分別に努める！

平成23年度 一中版環境ISO行動項目（生徒用）

- ゴミの分別を行い、燃やすものをできるだけ出さないようにします。
- 紙の無駄遣いをやめ、再利用できるものは再利用します。
- 節水・節電を意識した行動を行い、電気使用量については、前年度の数値を維持し、CO₂の削減に努めます。
- 美しく学習しやすい学校にするため、環境を意識した清掃活動・美化作業を行います。
- 家庭での環境ISOに努めます。
- コミュニケーション活動に積極的に参加し、参加率90%以上を目指します。

平成23年度 一中版環境ISO行動項目（職員用）

- 無駄な印刷をなくし、裏紙の再利用で紙の消費を抑えます。印刷用紙は、使用量を前年度の数値に維持します。
- 冷暖房の使用を節約し、冷房は28度、暖房は20度に設定し、CO₂の削減に努めます。水・電気使用量は、前年度の数値を維持します。
- ゴミを減量・分別し、資源としてのリサイクルに努めます。
- 環境を意識した美化作業・清掃活動の指導に努めます。
- 校舎のエコ改修に向けて環境に関する様々な研修を行い、過ごしやすい環境について考えます。
- 家庭での環境ISOに努めます。

2 行動項目に沿った実践

各学級での分別



ゴミを出す個人が、まずは分別を行う。裏紙は再利用し、両面印刷されたものは箱にまとめ、リサイクルに出している。

節電の呼びかけ



教室やトイレ等、スイッチがある場所に消費電力と料金、二酸化炭素排出量を掲示することで、節電を呼びかけている。

日常の節水活動



給食後の歯磨きの際、コップに水を汲んでおくことで、節水心がけている。

無言清掃の実施



自らの心を磨き、美しく学習しやすい学校にするために、放送の合図とともに掃除中は無言で隅々の清掃を行っている。

コミュニケーション活動



生徒達が9つの地区の84カ所のリサイクルステーションに出かけ、ゴミの分別作業を手伝いながら、地域の人とのコミュニケーションを図っている。
ゴミ + コミュニケーション = ゴミコミュニケーション

3 チェックと記録

行動項目チェックとISO委員による集計



生徒も職員も、月に1度行動項目を振り返る環境ISOチェックを行う。提出されたチェックカードは、各学級のISO委員が集計し、良くできていたところや改善点を各学級に呼びかけている。

分別のチェック



ISO委員が、掃除の時間にゴミの中身をチェックし、分別ができていない場合は、教室で分別し直してくる取り組みを行っている。

ゴミの排出量チェック



ゴミ出しの日に、ISO委員が学校から排出されるゴミの重さをチェックし、記録簿に記入している。

コミュニケーションの参加のチェックと記録



各リサイクルステーションの班長がチェックシートに記入し、地区担当の先生に報告する。そのチェックシートを元に、地区ごとの参加率の算出を行い、次回の活動日の連絡と併せて掲示している。

4 見直し・呼びかけ

掲示や放送による意識の向上と事前連絡の徹底



コミュニケーションが行われる日の昼休みに、前もって該当する生徒を集めISO委員長からコミュニケーションの意義の説明や参加する際の注意点、前回の出席率等の連絡を行うことで、意識の向上を図った。また、昼休みに集まることができなかった生徒には、担当から直接連絡をとり、コミュニケーションがあることを知らない生徒がでないように心がけている。

5 その他の取組

朝のボランティア活動



朝から各種委員会や部活動を中心に、昇降口の校門の落ち葉掃きや昇降口の清掃を行っている。

生徒会トイレ清掃



今年度は第一小学校への移転ということで、児童会の小学生と一緒にリーダー研修を行い、小学校のトイレ清掃を行った。

緑のカーテン栽培



第一小学校への移転のため、大規模にはできなかったが、ISO委員会で話し合い、プランターを利用してのアサガオとゴーヤの緑のカーテン栽培を行った。苗植えから水やり、除草まで生徒が世話を行い、見た目にも涼しかった。

リサイクル活動



夏休みの最後の日曜日の早朝、お世話になる一小校舎の親子清掃活動を行った。その後、生徒と保護者の手で集められた生きピンを回収するリサイクル活動を行った。

6 成果と課題

成果

- 学校再編等の影響もあり、コミュニケーションの参加率が一時70%以下になることもあったが、活動が定着するにつれ、目標の90%を超える班が大部分となった。全体の平均も2学期に入り、95%近くを保っている。
- 排出ゴミの量を調べる活動を通して、燃やすゴミを減らしたいというISO委員の意欲が高まり、学級への呼びかけ等の活動につながった。

課題

- ▲家庭での環境ISOは、コミュニケーション以外の取り組みができていない。環境通信等で啓発を図りながら、生徒の活動を支援していきたい。
- ▲意欲的に取り組む生徒とそうでない生徒の意識の差が広がりがつある。高いレベルを目指して取り組ませたい。